

慶應医学会 ニュースレター

~The Keio Medical Society~

Vol. 31 2024.2.

2024年11月25日開催 第103回慶應医学会総会・シンポジウムご報告

<総会> (※開催当時の役職名にて記載しております)

2023年11月25日(土)に慶應医学会総会を2号館11階大会議室でオンサイト開催いたしました。総会では、金井隆典会長による物故者への黙祷より総会議事に進み、会員の皆様方より承認をいただきました。また併せて、野村達次賞授与式も行われました。以下に主な内容をご報告いたします。

【総会議事次第】

会長挨拶

2022年総務報告・2023年中間総務報告

2022年決算報告・2023年中間決算報告

野村達次賞について

2023年予算(案)・2023年事業計画(案)報告

その他

野村達次賞について

(金井隆典会長)

(中川種昭総務担当理事)

(根岸一乃会計担当理事)

(金井隆典会長)

(金井隆典会長)

(金井隆典会長)

(田中謙二野村達次賞審査委員長)

・2024年予算(案)、2024年事業計画(案)

2024年の予算(案)として、①「生涯教育研修セミナー」の協賛 ②『KJM』誌発刊費用補助および投稿補助 ③会員向け「学会ニュースレター」の発行 ④野村達次賞賞金 ⑤国際メディカルアライアンスジョイントサマースクール補助費 ⑥アカデミックリサーチオーガニゼーション整備へ寄附を継続、そして、若手研究者への支援として慶應医学部主催の「健康慶應医療ベンチャー大賞」および慶應医学部大学院生を対象として開催する学内研究発表「医学研究科リトリート」への支援を予算に計上することが承認されました。

・野村達次賞について

厳正なる審査の結果、10回受賞者は久保健一郎教授(東京慈恵会医科大学 解剖学講座)ならびに名越慈人専任講師(慶應義塾大学医学部 整形外科教室)に決定いたしました。授与式では賞状と目録が授与されました。



<シンポジウム『未来の予防医療』>

慶應医学会総会、野村達次賞授与式の後、慶應義塾大学医学部 予防医療センターの高石官均教授、伊藤裕特任教授をコーディネーターとして、「未来の予防医療」をテーマに、2号館11階大会議室にてシンポジウムを開催いたしました。学内外より5名の先生方を講師としてお招きし、3時間超に亘りご講演いただきました。来場者数は60名を超え、質疑応答も活発に行われ、盛況のうちに終了いたしました。

【プログラム】

- I. 『一人ひとりの人生と共に歩む医療を - 予防医療センターを update 』
高石 官均（慶應義塾大学医学部 予防医療センター 教授）
- II. 『デジタルフェノタイピングと心の健康：ソフトウェア医療機器開発の最前線から 』
岸本 泰士郎（慶應義塾大学医学部 ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座 特任教授）
- III. 『DX の先にある新しい社会とヘルスケア 』
宮田 裕章（慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授）
- IV. 『Enabling Factor と Street Medical 』
武部 貴則（大阪大学 大学院医学系研究科 教授 / 東京医科歯科大学 統合研究機構 教授 / 横浜市立大学 先端医科学研究センター 特別教授）
- V. 『エクソソームからみる生体情報と疾患生物学 』
星野 歩子（東京大学先端科学技術研究センター 細胞関連医科学分野 教授）
- VI. 『メタボリックドミノと“未病”医療 —コンヴィヴィアリティ(conviviality)の創造 』
伊藤 裕（慶應義塾大学 名誉教授 / 予防医療センター 特任教授）

コーディネーターをお願いいたしました高石官均教授より、総評をご寄稿いただきましたので以下に紹介させていただきます。

【第103回慶應医学会総会シンポジウム開催「未来の予防医療」】

慶應義塾大学予防医療センター センター長・教授 高石官均

本年度の第103回慶應医学会総会・シンポジウムが「未来の予防医療」をテーマとして2023年11月25日（土）に開催されました。2020年から始まったいわゆるコロナ禍により、慶應医学会総会・シンポジウムはweb開催を余儀なくされていましたが、2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」となったために、4年ぶりに2号館11階大会議室でオンサイト開催されました。

本シンポジウムでは、予防医療の未来を先導する最新の先端技術や、異彩を放つ見識を持つトップリーダーの方々をお招きしました。今回は慶應義塾大学予防医療センターの伊藤 裕特任教授・腎臓内分泌内科名誉教授が会の前半部分を、予防医療センター高石 官均が後半部分のコーディネーター・司会を務めました。



高石官均先生



岸本泰士郎先生

まず高石が、検査プログラムを高度に個別化し、発症前診断・予測に基づく予見的な介入を行う「先制医療」の精度を高めて、積極的な予防医療へのシフトを図っていく事をお話致しました。次に、慶應義塾大学医学部 ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座の岸本泰士郎特任教授が、デジタルフェノタイプと心の健康について、ソフトウェア医療機器開発の最前線からご紹介頂きました。慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室の宮田 裕章教授からは、「DXの先にある新しい社会とヘルスケア」として、「いのちを響き合わ

せて多様な社会を創り、その世界を共に体験する中で1人ひとりが輝く社会」という最大多様な幸福を追求する話を伺いました。後半では、横浜市立大学先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター長・特別教授、東京医科歯科大学統合研究機構 先端医歯工学創生研究部門教授、シンシナティ小児病院 消化器部門・発生生物学部門准教授 オルガノイドセンター副センター長である武部 貴則教授から、「ヒューマニティーを観る」ことをミッションとした新しい医療へのアップデートを目指す「Street Medical®」という考え方について紹介して頂きました。東京大学先端科学技術研究センター 細胞関連医科学分野の星野 歩子教授からは、癌の転移特異性を、エクソソームからみる生体情報と疾患生物学を用いて分かり易く説明して頂きました。最後に、伊藤 裕教授から「メタボリックドミノと“未病”医療 —コンヴィヴィアリティ (conviviality)の創造」について、自分史を交えた感動する話しを伺い、閉会となりました。



宮田裕章先生



武部貴則先生



星野歩子先生



伊藤裕先生

「摂生は本にして治療は末なり」と予防医学を重視し、慶應義塾大学医学部に予防医学教室を設立した北里 柴三郎 慶應義塾大学初代医学部長・病院長の精神に則り、あらゆる人々が生涯にわたって健康な生活を送ることのできるよう、慶應義塾大学予防医療センターは「未来型の予防医療」を追求して参ります。「未来の予防医療」を想像し、それを実現する事で、人生100年時代のウェルビーング社会を先導するヒントに溢れた貴重なシンポジウムになったと思います。

慶應医学会ホームページについて

慶應医学会ホームページ（URL：<http://www.keiomedsoc.org/>）では例会開催情報や例会講演の抄録、医学部に新しく就任された教授・准教授・講師の先生よりご寄稿いただいたご挨拶や抱負なども掲載いたしておりますので、是非一度ご利用ください。

2024年2月22日開催 慶應医学会理事会・評議員会について

2024年2月22日（木）に、WEB開催にて、慶應医学会理事会・評議員会を開催いたしました。理事会・評議員会においては、各担当理事により2023年の総務報告、会計報告が行われました。その詳細につきましては、2024年11月に開催予定の慶應医学会総会においてご報告させていただく予定です。

2024年11月開催 慶應医学会シンポジウムのご案内

第104回慶應医学会総会シンポジウムは2024年11月に開催する予定となっております。総会シンポジウムの詳細につきましては、慶應医学会ホームページおよび9月に発行予定の次号ニュースレター等にてご案内させていただきます。

事務局より

第31号となる本号は、昨年11月に開催した慶應医学会総会・シンポジウムを中心にご案内をさせていただきました。

ニュースレターに関するご意見・ご要望などがございましたら、事務局にお問い合わせの程よろしくお願いいたします。（事務局）

発行：慶應医学会 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35
TEL：03-5363-3736 FAX：03-5361-7091 E-mail：keio-igakkai@imic.or.jp